

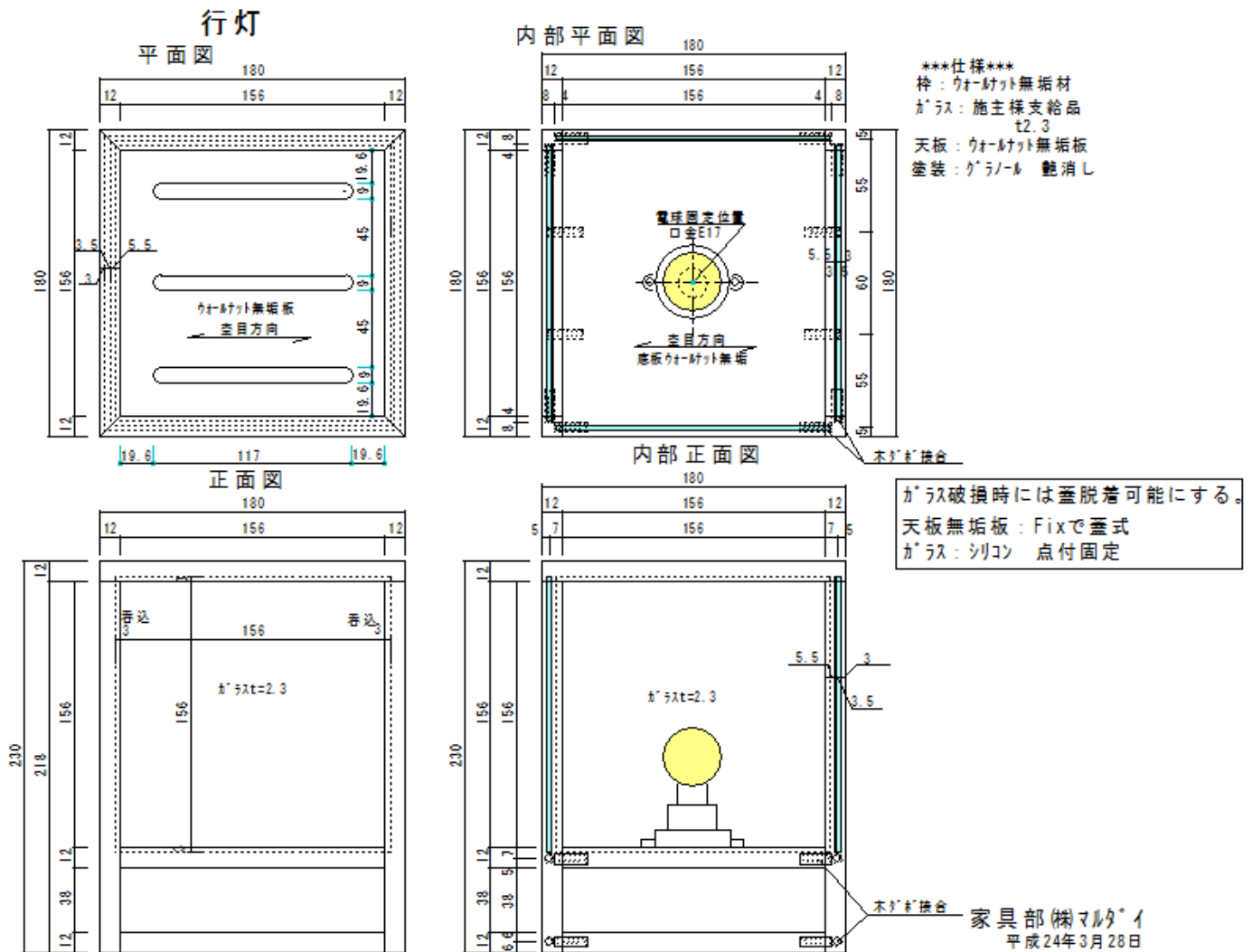
型ガラスを再利用した行灯の製作について

今回の依頼は新築現場で特注のキッチン、洗面台も納品が完了し、引渡し近くになって以前住まれた御宅の型ガラスを利用して行灯の製作を依頼されました

要望事項

1. 木材：ウォールナット無垢材で枠を出来るだけ細くしたい。
2. 天板にはウォールナット無垢板でスリットを入れる。
3. 型ガラスはザラザラ面を外側に配置する。
4. 電球はクリプトンで口金17とする。
5. 塗装：ガラス塗料グラノール 艶消し。
6. ガラス破損時に取り替え可能な構造とする。

以上、小さい行灯ではありますが、いろいろな加工手間を要します。



検討の結果

枠は w12 が一杯で縦枠、横枠をダボ固定で枠を形成します。底板で枠の補強も図ります。



型ガラスのザラザラ面を外側にセット。

天板無垢板でガラス溝とスリット加工。





ウォールナット無垢材でアンティーク調の行灯が仕上がりました。
支給品の型ガラスに時代を感じさせる趣があります。

(株)マルダイ 家具部 Da・monde 鈴木
平成24年5月 7日